

平成 20 年 7 月 29 日
東京都板橋区小豆沢 3-6-10
オリエンタル酵母工業株式会社

オリエンタル酵母工業 平成 21 年 3 月期第 1 四半期連結決算発表

平成 21 年 3 月期第 1 四半期連結決算概要

当社グループは、食品・バイオの両部門ともに、生産性の向上と研究・開発体制の強化、並びに新製品開発などを推進してまいりました。売上高につきましては、食品部門は、イーストやパン品質改良剤等はパン類の消費減少が影響し出荷減となりましたが、油脂加工品や総菜・ミネラル酵母などの出荷は好調でした。バイオ部門は、実験動物や研究支援事業を中心に受注が減少したことで出荷は低調に推移しましたが、海外向けの生化学分野の製品や国内向けの診断薬が好調に推移しました。また、価格改定効果もあり両部門とも、売上高は前期を上回りました。しかしながら、原油や穀物相場の高騰等に伴うエネルギー費や原材料費の急激な上昇がコスト吸収努力の限界を超えるとともに、価格改定の時期も遅れ、利益を圧迫する要因となりました。

連結業績につきましては、売上高は 159 億 58 百万円、営業利益は 4 億 81 百万円、経常利益は 5 億 60 百万円、四半期純利益は 3 億 1 百万円となりました。

平成 21 年 3 月期 今期連結業績予想

平成 21 年 3 月期におきましては、引き続き営業体制の強化や製造・販売・管理にわたるコスト吸収策を推進するなどして既存事業の収益基盤を強化すると共に、新製品の拡販や新規事業の展開を進めてまいります。また、前期に設立しました海外拠点を足かぎりに、海外市場の開拓も促進してまいります。しかしながら、エネルギー費や穀物相場高騰等による原材料費の一層の上昇が今後も予想され、こうした急激なコストアップを吸収すべく、価格改定を適時・適切に行ってまいります。

連結業績につきましては、平成 20 年 5 月 12 日に発表致しました業績予想と変更はございません。

利益還元について

会社の利益配分につきましては、株主への利益還元を経営の基本方針としており、安定配当を維持し、なおかつ配当水準の向上に努めております。

なお、株主の皆様への利益還元を積極的に進めるべく、15 万株、115 百万円を上限とする自己株式取得を決定いたしました。

以上